

首都直下地震防災訓練を実施しました（東扇島会場 H26.10.29）

1. 参加機関・人員（13機関、300名）

関東地方整備局（千葉港湾事務所、東京港湾事務所、東京空港整備事務所、京浜港湾事務所、東京湾口航路事務所、荒川下流河川事務所、横浜国道事務所）、関東運輸局、第三管区海上保安本部（羽田航空基地、川崎海上保安署）、川崎市（港湾局、消防局）、神奈川県警（川崎臨港警察署、航空隊、機動隊）、陸上自衛隊（第1師団）、東京電力（川崎支社）、日立建機日本㈱（関東支社）、(一社)日本埋立浚渫協会関東支部、川崎港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)日本自動車連盟（JAF）（神奈川支部）、防災エキスパート

2. 主な訓練内容

- ① 応急復旧訓練（防災拠点内液状化、岸壁背後陥没） ② 緊急確保航路啓開 ③ 緊急物資輸送（陸・海・空）

3. 初めての取り組み

- ① 羽田空港を活用したヘリコプターによる物資輸送（陸自、海保）
② 羽田空港を活用した船舶による物資輸送
③ 貨物船による耐震強化岸壁から耐震強化岸壁への物資輸送（川崎港東扇島→東京港中央防波堤内側地区－9m岸壁）



